様式３

金融庁

公開プロセス結果の令和６年度予算概算要求への反映状況

（単位：百万円）

事業番号	事　業　名	令和４年度補正後予算額	令和４年度		公開プロセス	令和５年度当初予算額	令和６年度要求額	差引き	反映状況			備　考
			執行可能額	執行額	取りまとめコメント（概要）	A	B	B－A＝C	反映額	反映内容		
014	国際金融センターとしての地位確立	172	173	152	本事業は「金融創業支援ネットワーク構築に係るモデル事業（実証実験）」、「英語ワンストップ対応」、「英語発信力強化」、「海外も含めた資産運用業の調査」といった４つの事業 により構成されるが、それぞれの改善の方向性を関連付けるなどして、事業の効果を高める工夫を継続してもらいたい。特に、モデル事業については、コロナ禍後の平常時において真の費用対効果を確認できる仕組みづくりを行っていくことが重要である。そのうえで、令和５年度の実績も踏まえ、事業内容を十分に検討すべきである。本事業のアウトカムについては、アクティビティやアウトプットとの関係が必ずしも明確になっていない。そのため、まずは目指すべき国際金融センターの姿及び時期を早期に明確にしたうえで、本事業の開始から今までの間における国際金融センターとしての立ち位置の向上にどのように貢献したのかを示すような指標を構築していくことが望ましい。	60	58	▲2	▲2	縮減	○本経費については、効率的な予算執行の観点から、コスト削減に努めていくこととし、令和６年度においては、一部事業の廃止等から、前年比3百万円の減額となる予算要求を行っていく。 ○行政の英語対応の強化や対外発信について、モデル事業を含む政府の施策等の紹介や海外金融事業者のニーズ聴取等を通じて、事業の効果を高める工夫を検討する。モデル事業について、海外出張やプロモーションを通じ日本に関心のある海外金融事業者に積極的にアウトリーチすることで、その利用ひいては日本参入につなげるよう取り組んでいく。 ○アウトカムについて、外部有識者の所見も踏まえ、適切な指標を検討していく。	
								－				
								－				
								－				
	合　　計	72	100	152		60	58	▲2	▲2			

注１．　該当がない場合は「－」を記載し、負の数値を記載する場合は「▲」を使用する。

注２．「執行可能額」とは、補正後予算額から繰越額、移流用額、予備費等を加除した計数である。